

いちほまれ等登熟状況、麦圃場準備

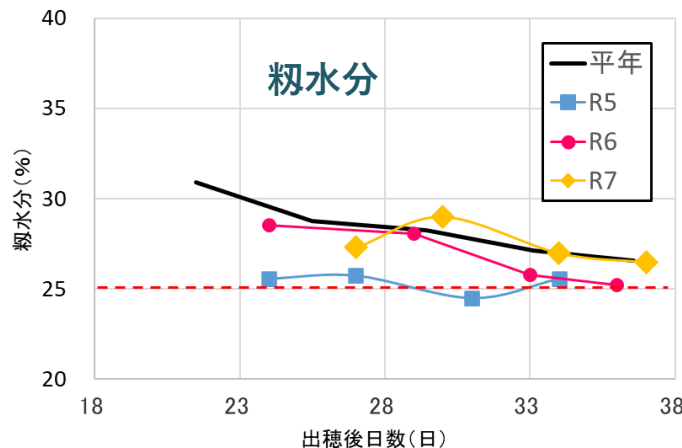
水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

いちほまれの現時点の籾水分は、平年並みの状況であり、成熟期直前となっています。
刈遅れは胴割粒の発生につながりますので、籾水分をこまめに確認し、適期に収穫しましょう。

水稻後に麦を作付けする圃場では、収穫後速やかに排水対策（額縁明渠や補助暗渠の設置等）を実施しましょう。

【農業試験場の登熟状況・成熟期予測】

● 登熟状況 5月20日移植 いちほまれ



5/20移植いちほまれ圃場写真
(9/12撮影)

● いちほまれ成熟期予測（農試）

移植日 5月20日
出穂期 8月6日（平年+2日）
成熟期予測 9月12日
出穂後の積算気温1,026℃（福井米技術対策資料）

● あきさかり成熟期予測（農試）

移植日 5月20日
出穂期 8月5日（平年+1日）
成熟期予測 9月11日
出穂後の積算気温1,037℃（福井米技術対策資料）

* 福井地方気象台の福井市観測値の平年値 + 2℃で予測
* 今後の気象条件によって変動する
* 登熟の進み方には地域差がある
* 葉色が薄いところは成熟期が早まりやすい

【麦圃場の準備（排水対策）】



サブソイラによる
耕盤・心土破碎



溝堀機による
額縁明渠の施工

※登熟状況に関する情報発信は今回で最後です。
まだまだ暑い日が続きますので、熱中症に注意しながら作業をするようにしましょう。